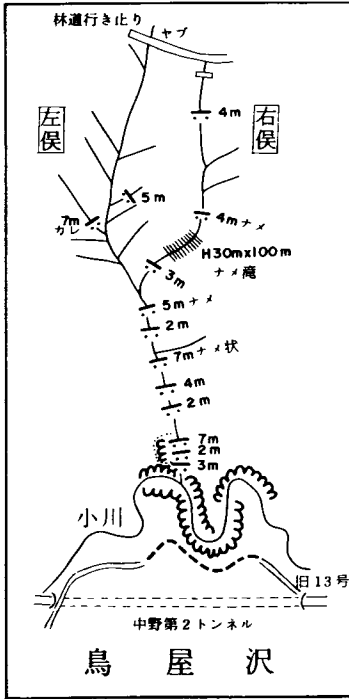


再び沢に降りると、この先は倒木で沢がほとんど埋まっている。滝も倒木の間にでてくるもので、すべて直登できる。

右俣との出合を過ぎて沢が大きく右に曲がるところから、倒木はなくなるものの、平凡な河原歩きとなる。

ヤブがかかってきたと思ったら、地図にはない林道が目の前に現われる。横川林道一三号支線で、出た所は工事の最終地点。来年はもつと奥



まで林道が入っていくだろう。

林道を越えて先に進むと、沢はヤブの中となり、遡行終了。

鳥屋沢右俣

林道を歩いて右俣下降点をめざす。

途中に林道の工事小屋があり、作業員の人達が休憩していた。小屋の手

前から沢に降りると、堰堤があり、その先しばらくして水が出てくる。

四時

(記)

「タイム」 出合(二四:一五) ↓ 二俣

(二四:五〇) ↓ 林道(一五:二五)

L₁

一九八五年九月一四日

ナメ滝を過ぎ、沢が右に大きく曲がる地点より、高さ三〇m、長さ一〇〇m程のナメが続くが、ところどころ倒木で埋まっており、容易に下ることができない。

すぐ二俣となる。一六時一五分、

下降終了。

(記)

「タイム」 林道(一五:二五) ↓ 二俣

(二五:五〇) ↓ 下降終了(二六:

一五)